

# 環境問題に取り組みながら 自然(阿蘇)の魅力を発信していく



▲リチャード・マクナマラ氏(中央上)と県立大学の生徒たち

今月は波野に在住のリチャード・マクナマラ氏をご紹介します。

リチャード・マクナマラ氏  
(Richard McNamara)

イギリス出身。ブリストル大学で心理学の学位を取得後、コンピューターによる情報処理学も学び、14年前に函館ラ・サール高校に英語講師として赴任。その後、熊本大学で教育学の修士号を取得し札幌国際大学や熊本県立大学等で教鞭をとる。(3月末で退職しました。)

■環境にやさしい暮らしを目指しています

リチャード・マクナマラさんは波野に住み始めて3年、大学で教鞭をとりながら環境にやさしい暮らしを目指してきました。「熊本の阿蘇ではなく地球全体からみた阿蘇の自然環境の保全に取り組んでいます。自分たちに何ができるのかを考えながら地道な努力が必要」と教えてくれたリチャード・マクナマラさんは、家も環境に配慮したものにしようと、海外で盛んに建てられている、藁や土や漆喰を使ったストローベイルハウスをご自身で手がけており、雨水を利用した設備や、のこくずを使つたトイレも備わっています。

旧阿蘇町に住んでおられた4年前の11月には、旧阿蘇町役場の協力を得て世界的に有名なカナダの環境活動家セヴァン・スズキ氏の講演会を主催し、環境問題に興味のある方々が町内外より250名ほど集まりました。

■阿蘇の魅力をアピール

大学で長く教鞭をとっていたこともあり、学生や環境保全に興味のある人々が福岡や熊本市内をはじめ遠くはアメリカやフランスか

らも遊びにやっけて来ます。そんな若者や大人たちに阿蘇の自然の魅力をアピールしています。各々が自ら薪で湯を沸かしたり、菜園の有機栽培の野菜を収穫したり、飼っている馬と触れ合ったりしながら自然を満喫してのんびりと時を過ごしています。

■翻訳や執筆もしています

著作として、日本の小学2年生の国語で習うモンゴル童話「スーホの白い馬」や「ぐりとぐら」シリーズなどの英訳版を手がける一方で、英字新聞の記事を執筆したりしています。

■自分たちができることから始めよう

現在、地球温暖化や特に世界規模で異常気象が発生していることから、世界中で環境問題が注目されています。そういった中、私たち一人ひとりが環境を良くするためにできることを一つずつ実行に移すことが大切です。日本は世界的に見ても、環境保全への取り組みが遅れているといわれています。「誰かがやってくれる、私たちができることは限られている」と考えず、個々の人々の努力の積み重ねで環境が良くなるし、また逆に努力をしないことで地球が汚れていくのだということを忘れないでほしいと願っています。

みんなの

掲示板

募集

●手話学習会と聴覚障害者との交流

音楽を通して手話で交流してみませんか。小学生からご年配の方まで手話を体全体で表現し、表情豊かに伝えることで人と人のふれあいを感ずる手話を学ぶことができます。初めての方でも大丈夫ですよ。

日時 4月20日(金)19時~20時30分  
毎週金曜日(月3回程度)  
場所 一の宮高齢者福祉センター  
参加費 有料  
※別途テキスト代1200円

申し込み 随時募集  
問い合わせ先 一の宮手話サークル事務局  
(担当 桑原・本田)

TEL 090-3415-6227  
FAX 32-5427

●先月号の「みんなの掲示板」に訂正があります

「阿蘇市サッカースクール無料体験教室受講生募集」の中で、対象者を新年中・年長児及び小学1年生のみと訂正させていただきます。

体験教室の詳しい内容は広報3月号のみんなの掲示板をご覧ください。  
※阿蘇市主催のサッカースクールではありませので、お間違えのないようお願いいたします。  
責任者 村上(090-1876-7369)